

ヒバクシャ国際署名 奈良県民の会

推進ニュース

2020年2月24日 no.1

ヒバクシャ国際署名
推進奈良県民の会

〒630-8213

奈良市登大路町5-5
奈良県教育会館内

☎0742-26-7135 fax0742-27-331

ヒバクシャ国際署名推進 奈良県民の会を結成

2月22日、待望の「ヒバクシャ国際署名推進奈良県民の会」が結成されました。

「被爆者は、生きているうちに核兵器のない世界を」と願い、2016年4月

「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国



際署名」(ヒバクシャ国際署名)を呼びかけ、それは各国の言葉に翻訳され全世界で署名活動が行われています。

被爆者の会「若草の会」が解散し、被爆者組織のない奈良県で、点々としている被爆者のみなさんといっしょに署名をの思いがつのり、昨年末12月4日に4人のメンバーで準備会をスタートさせました。被爆者、被爆2世、個人・団体に署名推進の協力を訴え賛同を得てこのたびの結成を迎えました。

この会を作った思いは

「参加のみなさん、ありがとうございます」。準備会の梅林さんのお礼と感謝の言葉で結成集会はスタートしました。中心メンバー



の今井光子県会議員は、静岡で生まれ、戦争

で片腕なくした叔父が核兵器廃絶署名を袋井市の過半数を集めているのを見てきた。2010年に第8回NPT再検討会議へ参加。アメリカ国内はイラク戦争反対で運動が高揚し、国連本部で初めて原爆写真展が開かれ、核兵器は非人道的だということ最終文章に入った。そして、被爆者が大変な差別を受けながら自らをさらけ出し世界に核兵器廃絶を訴えている。何とかして点々の被爆者と一緒にこの署名を進める「会」を作りたいという思いが出发点だと語りました。

被爆者5人が参加
平和への思いを語る

この日参加した5名の被爆者は、「あの当時」を振り返り、◆爆心地近くで僕は家にいて助かった。しかし、母と兄は外だったので即死(爆死) ◆現役退職後、語り部として各地の小学校で平和の大切さを語っている。◆大阪フィルのチエロ奏者だった。なぜチエロ? スペインのパブロ・カザルスに触発。郡山市などいくつかの平和の集会で「鳥の歌」を弾いた。パブロ・カザルスは、国連本部で「故郷カタルーニャの鳥は、ピース、ピースと鳴く」と演説。(核廃絶と平和を願う人だったことを紹介) ◆「残留放射能による原爆後障害で中学時代に約1年間床に伏した。今88歳、原爆、戦争はダメ!、これは後世に伝える使命感」・5人が話したいことのほんの一端を、強く・熱く語りました。



手から手へ、人から人へ 広げる草の根活動



西宮市原爆被害者の会・武居勝敏さん
のお話に聞き入る参加者

県民の会結成、感動し
胸震えるうれしさ

兵庫県西宮市から駆けつけた西宮市原爆被害者の会会長の武居勝敏さんは、「署名推進県民の会が奈良で結成、胸が震えるほど嬉しい」とお祝いの言葉をのべ、「手から手へ 人から人へ広げる草の根活動」と題して、西宮の活動を紹介。

知事、市長の賛同を得て写真付きリーフレット作成、西宮市の担当課がヒバクシャ国際署名の窓口になっていること。そして◆常時、署名用紙を持ち歩きチャンスを生かす。◆種をまかないと芽が出ない、遠慮せずにさりげなく署名のお願い。◆署名を手伝いする人を増やす。リーダーや責任のある人をお願いをする。

◆人の集まる祭り・イベント・会合で署名を訴える。などなど、西宮での取り組みを具体的に話されました。

奈良としての活動に活かせるところが沢山ありました。この点は、知恵を出し合い奈良版の具体化をすすめてはどうかと思いました。

NY世界大会では
平和・核廃絶の大切さ
を共有したい

新婦人の加奥有希さん
(香芝市在住) は、ニューヨークで開催される原水爆禁止世界大会に参加します。

加奥さんは、「私は青森の生まれです。小さい



写真は上から加奥さん、森川さん



刻な状況と語りながら、ヒバクシャ国際署名の署名用紙を持ち

ときからお母さんが平和運動をしていたので、その後ろを見てきました。長崎、広島の原水爆禁止世界大会にも青森のみなさんや母親達と一緒に参加したりしました。ニューヨーク大会では、英語が話せるので、世界中の人たちと平和、核廃絶について話し合い、情報を共有したいです」と、豊富・決意を語ってくれました。

共に力を合わせ
ヒバクシャ国際署名
を推進しましょう

歩き、気軽に声をかけて署名のお願いしていきたい。うと呼びかけました。

ヒバクシャ国際署名の力は、核兵器禁止条約に背を向けつつける日本政府ではなく、ただちに条約を批准し、被爆国の政府として世界のすべての国に「核廃絶と平和で公正な世界を」発信する政府に変えていく運動に繋がっていく力があります。

さあーこれからです。裾野を広げ力を合わせてヒバクシャ国際署名を押し進めていきましょう。

